

令和2年度  
北海道中学生新人バドミントン競技選手権大会

新型コロナウイルス感染症対策

「競技・運営上の注意」

【12月23日 改訂版】

※ 青字の部分が変更点。

北海道バドミントン協会

## 1. 基本的な考え方

公益財団法人日本バドミントン協会がおよび北海道協会が作成した新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドラインに準じて、参加者および関係者の健康と安全の確保を最優先して実施する。

## 2. 会場への入場制限および無観客試合の実施について

- ①本大会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から**入場者の制限をするとともに、無観客試合での大会実施とする**。会場内への出入りについては、原則当日試合に出場する選手、監督（顧問）外部指導者（コーチ）・マネージャー、役員（審判含む）および補助生徒のみとする。（以下、大会関係者とする）

**※ 保護者等の入場はできません。[ただし、個人戦出場選手で、当該校の教員や外部指導者双方の引率が見込めない場合は、その選手の保護者を引率責任者（＝監督）として認める。]**

- ②新型コロナウイルス感染症防止対策のため、**大会関係者は次の書類を必ず提出すること。**

### 【提出書類A】健康状態確認シート一覧（学校用）

～大会初日受付時に提出する。（男女まとめてもよい）

※各自、自宅（宿泊先）で検温を済ませておくこと。

### 【提出書類B】健康状態確認チェックシート（個人用）

～大会2日目以降は毎日の朝、競技開始前に監督が参加生徒人数分を回収してそのまま、受付または本部席に提出する。（2日目以降については、【書類A】の提出は不要）

※役員については、大会初日から【書類B】のみ提出する。

- 【書類A】・【書類B】は、主催者等で一定期間保管し、期間経過後はシュレッダー処理をする。

なお、体調がよくない場合（発熱・咳・倦怠感などの症状がある）は、自主的に参加を見合わせることを。

- ③大会関係者は、常時マスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策も講じる。  
④試合が終了した選手は、監督（顧問）とよく相談の上、保護者の協力を得ることが可能であれば帰宅に努める。  
⑤「新北海道スタイル」安心宣言を掲示し啓発を行う。

## 3. 会場内で使用する物品について

感染拡大予防として使用する、消毒薬、遮蔽用具、非接触型体温計等を事前に準備する。（消毒薬の残量チェックを定期的に行う。）

## 4. 開場時間・受付について

- ①**体育館開場時間は8：00の予定です。**  
②会場の入り口に受付を用意します。「プログラム」、「参加料領収書」、「競技・運営上の注意」、IDカード（入場証）を同封した封筒を受け取って下さい。IDカードは大会期間中、必ず身につけること（試合時の選手は除く）。帰る際はIDカードを受付に戻して下さい。

## 5. 大会会場内に関する確認事項

- ①換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的に外気を取り入れる換気を行う。  
②密を避けるため、組み合わせやタイムテーブルの掲示はしない。  
③外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。

- ④更衣室の使用範囲を更衣のみとし、シャワー・ロッカーの使用を禁止する。
- ⑤食事場所は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、密にならないよう感染拡大防止を徹底する。
- ⑥待機場所および観戦については、指定された場所や席または距離を開けて行い、席の移動は禁止する。（自チーム選手が試合をしているコート付近観覧席への移動も禁止する。）応援は声を出さずに拍手をもって行う。

## 6. 大会本部

- ①大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
- ②関係者控室は、なるべく多くの部屋を確保し、密を避けるようにする。但し、確保が困難な場合は、飛散防止シート等の設置、利用人数の制限を行う。
- ③共用スペース（トイレ・更衣室・食事場所等）および共有物品については、定期的に消毒を行う。

## 7. 競技会場（競技スペース）及び競技関係用具類について

バドミントンの大会は体育館内で行われるため、換気については特に配慮が求められ、また、競技で使用する用具には不特定多数の方が直接手を触れる物が多いため、大会期間の前後を含む継続した対応を行う。

- ①遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- ②窓や扉の開放ができない場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。
- ③コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに保管する。
- ④~~団体戦におけるベンチ（9席）は設置せず、コーチングシート2席のみ用意する。試合のない選手は、観覧席で待機する。個人戦においてはコーチングシート1席のみ用意する。~~  
→ 団体戦におけるベンチは2F観覧席の密を避けるため、各コートにコーチングシートを2席ずつと、ベンチ2席ずつを設ける。試合のない選手は、ベンチで待機する。  
個人戦においてはコーチングシート1席のみ用意する。
- ⑤コーチングシートの椅子は、チェンジエンス毎に持ち歩くこと。
- ⑥インターバルの時間は設定するが、ボードは使用しない。
- ⑦コートのもップ掛けは、毎試合終了後に行う。
- ⑧毎試合終了後の審判用具（筆記用具・ボード・カゴ）を消毒する。
- ⑨毎試合終了後の審判台・線審席・コーチ席・得点係席を消毒する。

## 8. 競技関係者及び競技中の確認事項

- ①線審、得点係等は、マスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策を講じる。
- ②得点係は、手袋（ビニール）を使用する。
- ③選手同士や審判員との握手は行わない。
- ④トスは、フィジカルディスタンスを確保して行う。
- ⑤コールは、必要最小限とする。  
⇒「プレー」「フォルト」「レット」「ゲーム」等で行う。線審は、指定の合図を行い、コールをしない。
- ⑥シャトルの交換は主審に確認の上、選手がシャトルを直接筒から取り出し、使用済みシャトルは選手が回収ボックスに入れる。（主審の逆サイドに設置する） ※定期的に競技役員が確認する。
- ⑦プレーヤー同士や監督・コーチとのハイタッチ等の接触を行わない。また、ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。

- ⑧汗をコート内やコートサイドに投げない。
- ⑨シューズの裏を手で拭かない。
- ⑩意識的に試合中の声出しは、極力控える。
- ⑪コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う。
- ⑫大会初日、団体戦**メンバー変更届け提出時間は、8：30**迄に受付または本部席に提出すること。  
**タイムテーブル1段目のオーダー交換時間は、8：50**に行います。  
放送に注意すること。
- ⑬**団体戦は**、2コートを同時に使用しての並行試合を行う。試合の勝敗は、第1複・単・第2複のうち、いずれか2ポイントを先取したチームの勝ちとする。また、進行の関係で3コート同時に進行することがある。この場合は、できる限り監督に確認の上で実施する。また、どちらかのチームが初戦の場合は第2複まで行い、それ以降は勝敗決定（2マッチ先取）後、打ち切りとする。
- ⑭マッチ前練習について、練習コートは番号の若い方のコートでトーナメント表の上のチームが、残りのコートで他方のチームが練習をし、その後、第1複と単の試合を行う。なお、先に終わったコートで第2複の試合を行う。1コートで団体戦を行う場合は、トーナメント表の上のチームが先に2分間の練習を行い、続いて他方のチームが行う。いずれも主審の合図で2分間ずつ行うこととするが、双方とも必ず練習を行うものとする。
- ⑮個人戦のマッチ前練習は、原則として主審が来るまでの間とする。また、単の場合は対戦相手と行い、複の場合はパートナー同士で行うものとする。
- ⑯競技の服装は（公財）日本バドミントン協会審査合格品を着用し、背面中央部には縦20cm、横30cmの範囲内に校名及び姓のみの表示をし、四隅を留める。なお、同姓の場合は名前の一部を小さく入れること。黒又は紺の日本語（楷書）で明記すること（ウェアの更衣をお願いする場合あり）。
- ⑰団体戦・個人戦とも敗者地区責任審判制とします。ご協力をお願いします。

## 9. 開閉会式・代表者会議・公式練習について

- ①**開会式及び閉会式は実施せず、表彰のみ随時行う。**
- ②**代表者会議は実施せず、この新型コロナウイルス感染症対策「競技・運営上の注意」とあわせて、大会初日（9日）の朝に放送にて周知する。**
- ③公開練習および試合前練習は、通常どおり行う。

## 10. その他

- ①**発熱者（37.5度以上）の入場を禁止する**（外出前の検温の徹底または入場時の検温を行う）。
- ②**大会関係者には、マスクの着用を義務付けた上で**、出入口付近や通路にアルコール等の手指消毒剤を設置し、大会関係者同士が密な状態にならないように、あらかじめ定員を設定し間隔を空けるなど配慮する。
- ③会話をすることは、マスクの着用を励行する。
- ④適宜手洗いやうがい等により予防に努める。
- ⑤ゴミについては、感染症拡大防止の観点から各自持ち帰り自宅で処分する。
- ⑥ホテル・旅館等に宿泊する場合は、大部屋を避けてシングルあるいはツインの部屋を手配するよう努め、宿泊施設の新型コロナウイルス感染症防止対策に従って下さい。
- ⑦移動手段として貸切バス等を利用する場合は、利用者は最小限の人員とし、できるだけ間隔を空けて座るよう配慮する。また、乗車中もマスクは着用すること。

